



令和8年2月6日
株式会社エクシード

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社エクシード（代表者名：佐藤 敏正、以下「当社」という）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第82回日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。同機構は、2023年4月、ソーシャルファイナンス・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、日本格付研究所（JCR）からセカンド・パーティー・オピニオンを取得しており、本債券は「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）⁽²⁾の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当社は、本債券を始めとしたSDGs債（ESG債）への投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘 柄	第82回日本学生支援債券
年 限	2年
発行額	300億円
発行日	令和8年2月6日

(1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。

「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

<会社概要>

会 社 名 : 株式会社エクシード

本 社 : 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山一丁目 12 番 14 号
金山総合ビル 3 階

事 業 所 : 刈谷市桜町四丁目 3 番地 第 2 セントラルビル 2 階
安城市三河安城南町一丁目 15 番地 8 サンテラス三河安城 5 階
福岡市博多区御供所町 1 番 1 号 西鉄祇園ビル 9 階

設 立 : 1990 年 (平成 2 年)

事 業 内 容 : モビリティ領域におけるソフトウェア開発、電子設計、機械設計

- ・ BEV、HEV、PHEV などの電動化部品開発
- ・ 先進運転支援システム開発 (ACC、LKAS、画像認識 など)
- ・ 自動運転システム開発 (EPS)
- ・ 先進安全システム開発 (エアバッグ、事故情報記録装置 など)
- ・ パワートレインシステム開発 (エンジン、電動化技術、次期型ブレーキ)
- ・ モビリティコンピューター開発 (統合 ECU)
- ・ 基盤ソフトウェア開発
- ・ 制御ソフトウェア開発 (MBD)
- ・ カーエアコン設計 (熱交換機部品)
- ・ ミニバン・ワンボックスのボデー設計、構造解析
- ・ 各種 ECU 筐体設計
- ・ CAE 解析 (構造・流体・熱・振動・光) を用いた最適化設計
- ・ 各種 3DCAD を用いたモデリング・設計製図

設備、治工具、専用機的设计・製作

U R L : <https://i-exceed.jp/>

<SDGs の達成に向けた取り組み>

私たちは、経営理念を実現するプロセス「満足共有サイクル」に SDGs のゴールを取り込み、日本の「ものづくり」の最先端で行っている、開発設計の事業を通して、持続可能な社会づくりに貢献しています。

- 持続的な成長によって、「満足の連鎖」を広げる
- エンジニアを育成し、総合力で新しい技術への挑戦
- 健康経営の推進で、「満足の大きさを誇る会社」を実現
- 技術、人材の可能性を広げるつながりを生み出す

